CIP学生賞

prize CIP

第22回 CIP学生賞　受賞者および作品一覧 （順不同・敬称略）

受賞学生氏名	学校名	学部・学科名	受賞作品名
向山 季里	岐阜女子大学	家政学部　生活科学科　住居学専攻	美渡　ー美しい諏訪湖を未来に渡すー
堀毛 星来 戸嶌 ひかり	椙山女学園大学	生活環境デザイン学科　インテリアプロダクト分野	シンニチ工業株式会社における食堂と会議室のリノベーション計画
政谷 雪乃	トライデントデザイン専門学校	総合デザイン学科　インテリアデザインコース	つむぐ灯の納骨堂
寺嶋 美華	岐阜市立女子短期大学	デザイン環境学科　建築・インテリア領域	AKARINA
高岡 穂月	名古屋文化短期大学	生活文化学科　ビジネス専攻　インテリアデザインコース	減らして住み続ける　～ゆったりと過ごせる暮らしへ～
谷澤 綺留	愛知産業大学	造形学部　建築学科	古色の庭　～岡崎市美術博物館 色彩交流館～
三輪 天音	大同大学	建築学部　建築学科　インテリアデザイン専攻	潮風の輪郭　ー自生的秩序を詠むー
小澤 ひかる	名古屋造形大学	造形学部　造形学科　空間作法領域	のどかで贅沢な時間　～自然とひととで紡ぐ、日長の豊かさ～
河合 李英	金城学院大学	生活環境学部　環境デザイン学科　空間デザインコース	駅のまえ、ひとときの居場所　～豊橋駅西口ロータリーの計画～
内田 新大	愛知淑徳大学	創造表現学部　創造表現学科　建築・インテリアデザイン専攻	Art Archive Museum Tokoname ー愛知県美術品等共同収蔵庫整備事業 設計案ー
上野 鷹斗	中部大学	工学部　建築学科	「共同態」へ　ー持続的な都市域の提案ー
平田 瑞稀 細野 未来	愛知工業大学	工学部　建築学科　住居デザイン専攻	流路の重層　～点在する歴史資産と都市の軸をつなぐ回遊都市へ～
若林 純也	名古屋工業大学	社会工学科　建築・デザイン分野	退屈をほどく住まいのシークエンス

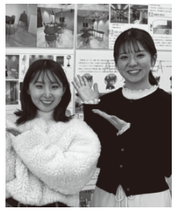
美渡 ー美しい諏訪湖を未来に渡すー

向山 季里

岐阜女子大学
家政学部　生活科学科　住居学専攻

郷土諏訪の御神渡りを復活すべく、諏訪湖の水質改善等に資する施設を計画したものである。水質改善には莫大なコストがかかり、そのためには幅広い人々の共通理解が必要だと考え、美術館や水族館との複合化を図ったところに本作品の秀逸さがある。（黒見 敏丈）

シンニチ工業株式会社における食堂と会議室のリノベーション計画



堀毛 星来
戸嶌 ひかり

椙山女学園大学
生活環境デザイン学科
インテリアプロダクト分野

パイプメーカーであるシンニチ工業の食堂および会議室を対象に、実際のリノベーション・コンバージョンをおこなった卒業研究が高く評価された。単なる「食事をする場」「会議をする場」という機能にとどまらず、多様な使い方を提案し、スタートアップ企業との協働など新たな利用価値を創出しました。特徴的で魅力あるインテリア空間を実現させた点が評価された。（椙本 雅好）

つむぐ灯の納骨堂

政谷 雪乃

トライデントデザイン専門学校
総合デザイン学科
インテリアデザインコース

光をテーマに、悲しみから再生へと向かう心の動きを丁寧に表現した提案。敷地奥への配置や半地下の構成、上昇する動線計画により身体感覚と感情の変化を重ねている点が秀逸。自然光や竹林の効果を取り入れ、静けさと開放感を両立させた空間構成も評価できる。（田淵 智子）

AKARINA

寺嶋 美華
岐阜市立女子短期大学
デザイン環境学科
建築・インテリア領域

敷地は長野県安曇野市明科駅前である。子どもたちが、あやめ公園のアヤメを描くことを通じてシビックプライドの醸成を図るアートセンターを提案している。インテリアの素材にまで丁寧に配慮し、全体を現代的な造形で統合している点を評価し、推薦する。(臼井 直之)

減らして住み続ける ～ゆったりと過ごせる暮らしへ～

高岡 穂月
名古屋文化短期大学
生活文化学科　ビジネス専攻
インテリアデザインコース

名古屋市西枇杷島地区の美濃地街道沿いに現存する5つの山車蔵にコミュニティ拠点を併設し、祭り以外では見られなかった山車を街の風景の中に見える化することで、地域の誇りである200年以上の歴史を持つ尾張西枇杷島祭りを紐帯としてコミュニティを再編する提案である。地域での綿密なリサーチや山車の格子を建築のデザインモチーフに取り入れるなど学内でも高い評価を得た本作を、CIP学生賞に推薦する。(木邊 智子)

谷澤 綺留
愛知産業大学
造形学部　建築学科

古色の庭 ～岡崎市美術博物館 色彩交流館～

デジタル化が進む現代において、日本古来の色名に着目し、色彩が本来もつ感情性や物語性を建築空間に再生しようとする意欲的な提案である。力強いドローイングと独創的な模型表現により、その理念を的確に表現している。(宮﨑 晋一)

三輪 天音
大同大学
建築学部　建築学科
インテリアデザイン専攻

潮風の輪郭 ー自生的秩序を詠むー

わたしたちは古より、厳しい自然の中で巧妙に生き抜いてきた。本提案は、「風」を様々なかたちで知覚し、建築として構造化した意欲作である。風と対峙することで立ち現れる空間は、自然と共に在る地域の未来を示唆している。(船橋 仁奈)

のどかで贅沢な時間 ～自然とひととで紡ぐ、日長の豊かさ～

小澤 ひかる
名古屋造形大学
造形学部　造形学科
空間作法領域

「なにもない」と嘆く田舎町は多いが、実は地域が気付かないその町本来の良さは隅々に眠っている。作者はそのような地元の可能性に気づき、町を丹念に調査してその価値を見出した。情感あふれる丁寧なスケッチが心を揺さぶる作品である。(溝口 周子)

駅のまえ、ひとときの居場所 ～豊橋駅西口ロータリーの計画～

河合 李英
金城学院大学
生活環境学部　環境デザイン学科
空間デザインコース

豊橋駅東口駅前の再開発計画である。駅と緩やかにつなぐ立体動線のペディストリアンデッキを含むロータリーのデザインは、「通過する場所」から「立ち寄りたくなる場所」へ生まれ変わらせることのできた作品である。(弓立順子)

Art Archive Museum Tokoname
ー愛知県美術品等共同収蔵庫整備事業 設計案ー

内田 新大
愛知淑徳大学
創造表現学部　創造表現学科
建築・インテリアデザイン専攻

愛知県内3館の美術館による合同収蔵庫を常滑に計画する、実在のプロジェクトをもとにした提案である。収蔵機能に加えて「人々の避難場所」というプログラムを重ね合わせ、常滑産レンガの透かし積みによるダブルスキンを用いて温熱環境を調整しながら建築を地域に開くことで、収蔵庫の新たな存在意義を提示した秀作である。(諸江 一紀)

「共同態」へ ー持続的な都市域の提案ー

上野 鷹斗
中部大学
工学部　建築学科

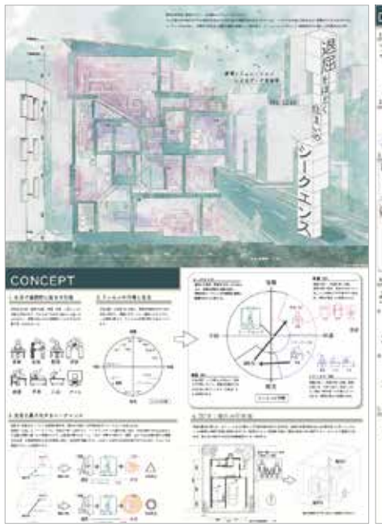
自然の循環が暮らしの中に浸透した持続的社会を「共同態」と定義し、それを木造架構によって具現化することで名古屋市錦の街区再生を目指した計画案。都市域を自然に向けて拡張させることによって生まれる新しい都心居住の姿を、見事に描き出している。(中村 研一)

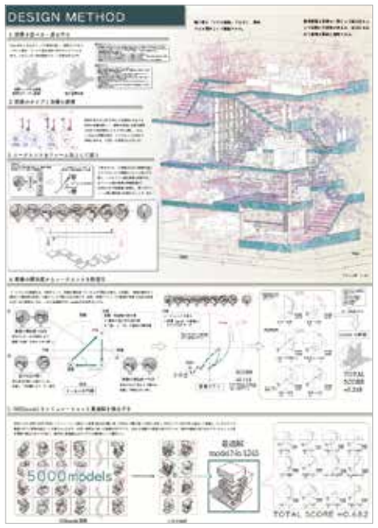
流路の重層 ～点在する歴史資産と都市の軸をつなぐ回遊都市へ～

平田 瑞稀　細野 未來
愛知工業大学
工学部　建築学科
住居デザイン専攻

半田市の発展を支えた運河と鉄道という都市の流路に対し、その間の市街地は現在虫食状となっている。
本提案は両者を歴史的資産とウォーカブルな空間装置によって再接続しようとする点に意義があり、建築単体にとどまらないエリアビジョンとして評価できる。(益尾 孝祐)

退屈をほどく住まいのシークエンス





若林 純也
名古屋工業大学
社会工学科
建築・デザイン分野

本作品は、細やかな生活行為に目を向け、本来なら経験値や数値化できない価値感によってデザインされる建築計画を、独自のプログラミングを活用して自動生成するところに意義があり、先駆性が高い。自動的にプログラムされる視点と、本人の感性との融合を図り、次世代の設計手法に果敢にチャレンジした秀作といえる。以上の理由より、本作品を推薦するものである。(伊藤 孝紀)